

肌に優しく美しく、そして健やかに

—先端肌洗浄剤・こんにゃくセラミド・アロマオイルのお話—

日時：2024年9月28日（土）13:30～16:30（受付開始 13:00）

場所：群馬コンベンションセンター（Gメッセ群馬）中会議室301

プログラム（演題と講師）

1. 肌にやさしい洗浄料の開発について

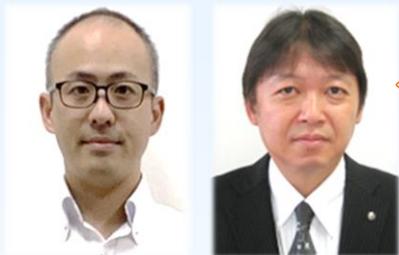
目野 高嗣 氏（資生堂グローバルイノベーションセンター）



「洗う」と聞いてどんなもの・どんなことを想像するでしょうか？顔を洗うための洗顔料、髪の毛を洗うためのシャンプー、手を洗うためのハンドソープなど、身体を清潔に保つために洗浄料は不可欠です。でも汚れが落ちればどんな洗浄料でもいいというわけではありません。洗浄料は、さまざまな科学を関連づけてできています。さらにはやさしく顔を洗うための秘訣をお話します。

2. 繊維分野で活用する、肌を健やかにする天然由来素材

信澤 和行 氏・近藤 康人 氏（群馬県立群馬産業技術センター）



衣類などの繊維製品には、吸収速乾性や汚れが付きにくくなる防汚性など、その使用の目的に応じて機能化するための様々な加工技術が使われています。今回のセミナーでは、肌を健やかに保つための機能化をテーマに、こんにゃく芋に含まれる保湿成分を加工する技術やキノコやアロマオイルなどの天然素材から抽出される成分を使った繊維製品を抗菌化する事例についてご紹介します。

3. こんにゃくセラミドでエイジングケア – 美肌から認知症予防まで –

向井 克之 氏（群馬大学食健康科学教育研究センター）



群馬県の特産品であるこんにゃく芋には、セラミドが非常に多く含まれています。一方、ヒト角層の細胞間脂質であるセラミドは加齢と共に減少することが知られており、こんにゃくセラミドを食べることによって、角層セラミドの減少を防止して、肌の保湿およびバリア機能が強化できることをご紹介します。また、認知症予防にも効果があることが分かってきており、こんにゃくセラミドを食べてエイジングケアしましょう。

申込方法：氏名と連絡先を明記の上、<https://x.gd/DTiRt>（右のQRコード）から、または E-mail や Fax でお申し込みください。

申込先：群馬大学大学院 理工学府 理工学基盤部門 高橋 浩
E-mail: hirotakahashi@gunma-u.ac.jp、Fax: 027-220-7551

